



地域包括支援センターだより

互近所ささえ～る隊の紹介⑥

助け合い活動の普及啓発やしきみづくりを推進する“互近所ささえ～る隊”。

今回は、「あさひ互近所ささえ～る隊」の活動を紹介します。

昨年度、「あさひ互近所ささえ～る隊」では「隊の周知活動」と「住民の皆さんの声を聞く」ことを目標に取り組んできました。

「住民の皆さんの声を聞く」取り組みでは、朝日地区の住民アンケートを実施。アンケートの結果、高齢になって困ることの多くは、「通院」「買い物」「調理」など生活に関することでした。そして、困っていることを近所の人に頼みにくいという現状が明らかになりました。解決策として「まずは集落で話し合うことが大事」と考え、檜原集落をモデル地区として座談会を実施。老若男女、多くの人が集まり活発な意見交換をすることができました。今後は、「隣近所の支え合い」をテーマに檜原集落でできることを考えていきます。

朝日地区が地域の力でより住みやすくなるよう、これからも「あさひ互近所ささえ～る隊」は頑張ります。



▲地域を知るためのグループワーク



▲周知活動のための寸劇

●問い合わせ

介護高齢課地域包括支援センター ☎53-2111（内線365）
または各支所地域振興課地域福祉室



▲今年の雪はすごかったですね

この3年間、猛烈な勢いで過ぎました。
本当にこの地域はティーンで、お金より物々交換での循環が多かったり、血縁や信頼であらゆる物事が繋がっていたりしています。こんなに魅力的で頼もしい地域は他にないと思うくらいです。全知知らない土地だったのが嘘のように笑って手を振る相手が日に日に増えていくのはとても嬉しいです。

今回は、3月末で山北地区での3年間の任期を終え、これからも村上で暮らす大滝順子元隊長からのメッセージです。

今後も、伝統維持の活動を展開していきたい

今でも移住する勢いと同じ熱量の夢を、地域とどう化学反応させられるかがおもしろさの要だと考えています。地域文化を学ぶほど魅力は増し、深さを知れば可能性も広がっていく。3年では全然足りません。
この日本の原風景が未来へ続き、手を振る皆さんとワクワク楽しい人生になったら最高です。地域の宝であるお年寄りたちの得意分野で活躍できる場（仕事）を創るべく、深刻な絶滅危惧文化のしな布生産を後押しするなど伝統維持の活動も、夢も、ゆるやかに展開していきたいです。
これからも皆様の応援やご協力、よろしくお願いします。



▲中継集落でのしな布の皮剥ぎ

シリーズ

新しい関係の構築を促す

地域おこし協力隊通信 ⑫

●問い合わせ 自治振興課自治振興室
☎53・2111（内線3331）